

## マーケットの動き (2020年6月8日～6月12日)

為替市場は、米ドルは対円で下落（円高）しました。

米ドル円相場は、10日のFOMC（米連邦公開市場委員会）が示した慎重な経済見通しを受けて、前週からの円安傾向は一服し、11日の米国株式市場の株価下落を受けて円高が進みました。

ユーロは、米国長期金利の下落が一服したことで、欧米の金利差が縮小するとの見方が弱まったことから、米ドル買いが優勢となり、対円・対米ドルともに下落しました。

## 投資環境見通し (2020年6月)

## 米ドル、ユーロとも神経質な動きを予想

**米ドル・ユーロ**：米ドル、ユーロ、円の3通貨ともに短期金利の低下余地に限られる中、当面は各国・地域の経済活動再開のペースや経済復興に向けた政策動向が注目されます。新型コロナウイルスの感染第2波が警戒される中、引き続き各国の感染動向に対して神経質な展開が予想されます。また、米中関係の動向や英国のEU離脱に関する移行期間の延長判断など、先行き不透明感が広がる場面では変動率が高まる可能性があります。

	6月12日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	107.33	▲2.42	0.09	▲1.96	▲1.14
ユーロ/円	120.71	▲3.45	4.10	▲0.79	▲2.08

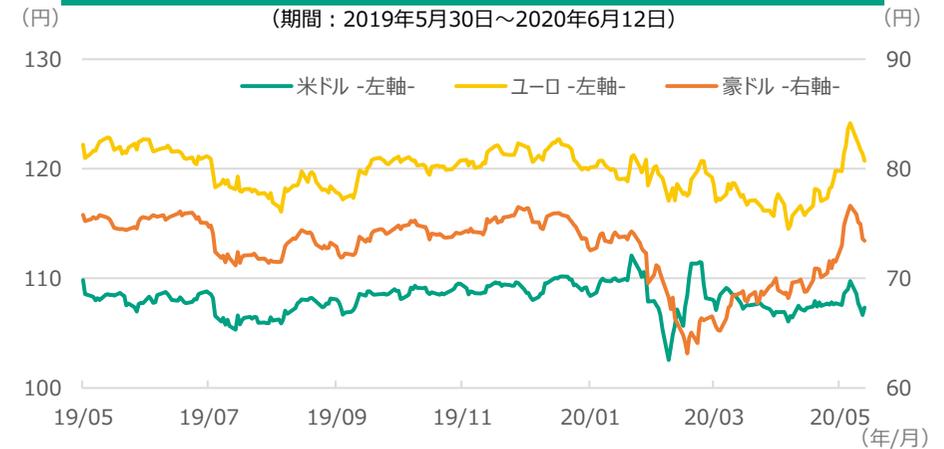
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

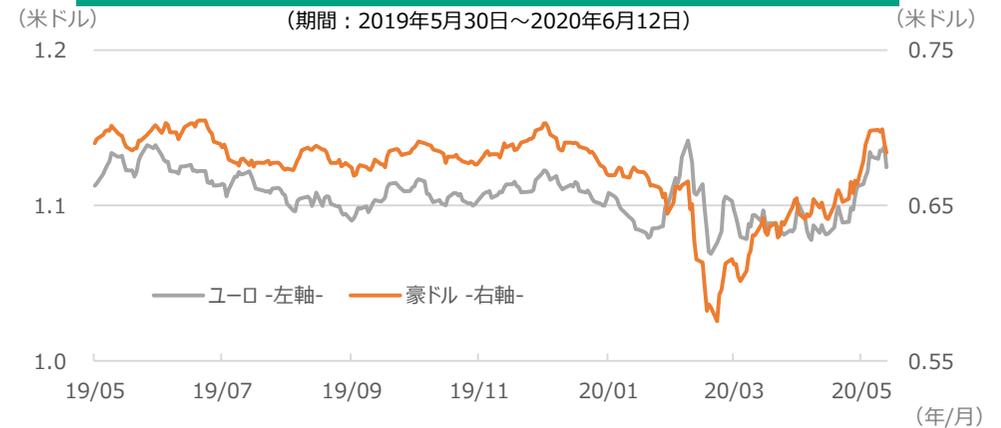
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202006\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202006_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 為替レートの推移 (対日本円)



## 為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成